

福島県立橘高等学校は、明治30（1897）年に創立され、これまで、福島高等女学校・福島女子高等学校と女子教育の伝統を引き継ぎながら、平成15（2003）年に男女共学の橘高等学校と校名を変更し現在に至り、平成29（2017）年に創立120周年を迎えました。今年度は、創立127年目になります。

本校は、校訓である「自主・自律・自立」の精神を備え、知性に溢れ、学習意欲の高い生徒の育成を目指しております。生徒は自己実現のために、勉学に励むとともに、部活動や生徒会活動等にも全力で打ち込み、質の高い学びと優れた文化（たちばな文化）の創造に取り組んでおります。

生徒の進路実績では、今春の卒業生は、国公立大学に本校で過去2番目の174名が合格（東北大学・福島大学・新潟大学・千葉大学・東京外国語大学など）し、私立大学に404名が合格（早稲田大学・明治大学・法政大学・中央大学など）するなど、多くの生徒が進路希望実現を果たしました。

また、部活動では、弓道部・陸上部・水泳部がインターハイ東北大会に出場し、弓道部は、「かごしま国体2023」少年女子近的競技で本県18年ぶりの全国優勝を果たす快挙がありました。文化部では、合唱部が声楽アンサンブルコンテスト全国大会で銅賞に輝き、囲碁部が全国高等学校囲碁選手権大会等に出場するなど、多くの部活動が福島県大会で上位入賞を果たしています。

今年度の重点努力目標には、永く受け継がれる本校の伝統と地域において果たす役割を踏まえ、「質の高い授業の創造」・「質の高い文化の創造」・「進路目標の実現」の3つを掲げております。高校教育を取り巻く状況は、今後ますます変化していくことと思いますが、「不易流行」の言葉のとおり伝統と文化を継承しながら、新しい時代に対応できる生徒の資質・能力を育み、常に社会から求められる高校となるよう努力を続けてまいります。

今後とも、皆さまの本校教育活動に対するご理解・ご協力、並びにご支援を賜りますようお願いいたします。